

新公立邑智病院改革プラン点検・評価報告書
(令和元年度 実施状況)

令和2年8月

新公立邑智病院改革プラン経営評価委員会

はじめに

新公立邑智病院改革プランは、平成 29 年度から平成 32 年度（令和 2 年度）の 4 年間を対象期間としており、毎年、点検・評価・公表を行うこととなっている。令和 2 年 8 月 26 日、新公立邑智病院改革プラン経営評価委員会設置要綱により委員会を招集した。

当委員会としては、令和元年度における、①地域医療構想を踏まえた役割の明確化、②経営の効率化、③再編・ネットワーク化、④経営形態の見直し、⑤その他地域医療について必要なこと、の 5 項目について点検・評価を行ったので、ここに報告する。

基本的な考え方

総務省が示した公立病院改革の目的は、公・民の適切な役割分担の下、地域において必要な医療供給体制の確保を図り、その中で公立病院が安定した経営の下でへき地医療・不採算医療や高度・先進医療等を提供する重要な役割を継続的に担っていくことができるようにすることである。

なお、点検・評価等の結果、新改革プランで掲げた経営指標に係る数値目標の達成が著しく困難であると認めるときは、改革プラン全体を抜本的に見直す必要がある。

5 項目の点検・評価

① 地域医療構想を踏まえた役割の明確化について

医療機能等指標に係る数値目標において、「救急患者数」が計画値を下回っているが、前年度比較では増加している。患者数の邑智郡 3 町別分析では、外来患者延数の町別割合は、邑南町が約 80%、川本町・美郷町が約 20%となっているが、救急車来院患者延数の割合では、邑南町が約 70%、川本町・美郷町が約 30%と邑南町外の比率が多くなる。近隣救急告示病院の受入れ状況を鑑みても、郡内唯一の救急告示病院、急性期病院としての役割を担う公立邑智病院の存在価値は大きいと考える。

また、周産期医療では、近隣施設の分娩取り扱い中止を受け、「分娩件数」が47件と数値目標に近づく実績となった。また、小児医療では、保護者向け講演会活動や学校医の受託、保健師・養護教員向け研修会を実施してきた結果、小児科外来患者数が増加している。このことから、周産期・小児の医療機能は病院、行政が連携し、守っていかなければならない重要項目である。

② 経営の効率化について

経営指標に係る数値目標は、令和元年度の「経常収支比率」102.6%が示すとおり、計画した目標を概ね達成できている。

「職員給与費の対医業収益比率」では、計画値を上回る実績見込みであったが、職員の増員、特に医師確保ができたことによる給与負担の増加が要因であった。

「経営の効率化」では、個人未収金対策として、会計窓口と連携した早期の回収や患者面談の実施により、前年度比較で削減を達成した。引き続き、個人未収金の削減に努めてもらいたい。

③ 再編・ネットワーク化について

再編を困難にしている大田医療圏域の交通インフラの整備状況や地理的要因に大きな変化はない。よって、引き続き大田市立病院と公立邑智病院の急性期機能、二次救急・周産期・小児・整形外科等をそれぞれ維持する必要がある、再編は考えられない。

ネットワーク化についても、4病院連携協定や「まめネット」等を活用して県や自治体及び近隣の医療機関との連携を希望する。

④ 経営形態の見直しについて

中山間・過疎地域における医療従事者の安定確保と少ない医療資源を維持するためには、議会や邑智郡3町の行政と密に連携し医療施策を行うことが必要

であり、現在の経営形態（一部適用）が適していると思われる。

⑤ その他地域医療について必要なことについて

令和元年は、年度途中で整形外科医師の退職があり、島根大学医学部附属病院からの非常勤医師派遣で外来を維持しているが、整形外科は当地域では医療ニーズの高い診療科でもあるため、県や大学などと連携して医師確保に努めてもらいたい。

また、現在、新型コロナウイルス感染症が全国的に蔓延している状況であり、「本館棟建替え事業」の整備計画を確認したところ、発熱外来の設置や病室の個室化等を計画しているとの説明であった。様々な状況に対応できる施設整備計画を望む。

おわりに

新公立邑智病院改革プラン評価委員会として 3 回目の報告を行った。前回に引き続き、各項目の数値目標は概ね達成されており、経常収支の黒字を達成している。

総務省からは地域医療構想の更なる推進に向け、令和 3 年度以降の改革プラン策定の方針がでていいる。公立病院改革の本旨では、地域において必要とされる病院の確保、持続可能な公立病院を築き上げる手段としての経常収支黒字化が数値目標となっている。公立邑智病院を今後も継続していくためにも、適切な収支分析をし、健全な病院運営に努められることを望む。

新公立邑智病院改革プラン経営評価委員会
委員長 飯田武則

○第3回 新公立邑智病院改革プラン経営評価委員会
日時 令和2年8月26日(水) 11時00分～12時00分
場所 公立邑智病院研修棟 第一研修室

○新公立邑智病院改革プラン経営評価委員会委員

委員長 飯田武則(川本町議会 議長)

副委員長 山中康樹(邑南町議会 議長)

委員 梶浦靖二(島根県県央保健所 所長)

佐竹一夫(美郷町議会 議長)

杉本政輝(川本町 副町長)

岸本建夫(美郷町 副町長)

日高輝和(邑南町 副町長)

荘田恭仁(公立邑智病院 院長)

○事務局 公立邑智病院 事務部

日高武英(事務部長)

金山淳生(医事管理課長)

土井祐子(総務経営課長)

服部脩平(総務経営課主任)